

百合便り

校長だより6月号



百合の花咲く丘 つぼみがつきました。

6月になり、生徒たちは文化祭企画書作成、体育祭の選手決めなど秋の行事に向けて始動しました。この時期は授業を見に行く機会が多いので授業中の生徒の様子をお知らせします。

一番感心したのは、一生懸命前を向き、勉強をしようという姿勢です。そして、このごろペアワークやグループワークなどを取り入れ、生徒間で話す機会が多くなったので、そのような場面ではまさに「清新澆漓」とした生徒たちの表情を見る事ができます。その場面になると生徒たちは一気に話し出します。学習内容を声に出しながら楽しそうに学習する風景は、自分が生徒であったころの授業では想像できないものです。教育は「ジグソーパズル」から「レゴブロック」へ、といわれることもあります。まさに最終形の見えない自由発想の成長が期待されます。大切なことはきちんとステップを刻み表現することです。職員とともに、いかに「清新澆漓」な表情と「分かる」と「学びたい」を引き出すか考え続けたいと思います。

暑くなり始めたこのごろ、気になる事が一つあります。校舎を回るとジュースの飲みこぼしや、溶けたアイスが階段や廊下に見られるのが残念です。毎日職員が清掃していますが、この点については生徒たちにも改めさせないといけないと思っています。

さて、百合の花咲く丘のやまゆりや玄関前のカサブランカが伸びてきました。7月9日（日）にはやまゆり観賞会です。本当にPTA役員の方々に感謝申し上げます。今年は部活動での行事参加を目標に掲げ、やまゆり観賞会には茶道部、料理部が参加します。また書道の授業作品「百合を見て一句」が掲示される予定です。「百合の花を見たら、わが母校」の気持ちで百合を生徒たちの心に刻みたいと思います。お時間がありましたら、やまゆり観賞会にぜひお越しください。